

●端子配列と結線図

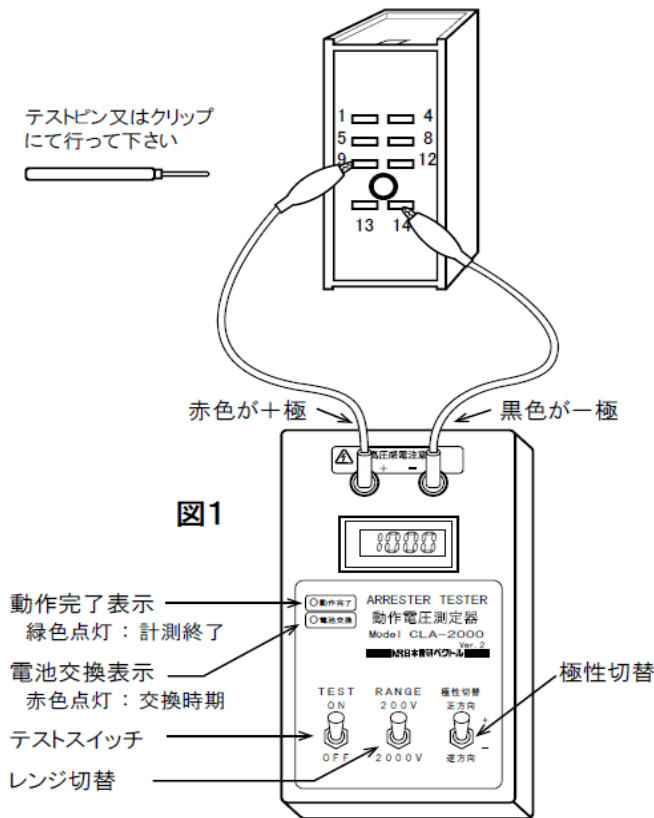


図1

チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。
1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。
TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

●点検前のご注意

- ① 安全のため配線されたソケットより外しておこなってください。
- ② 感電にご注意下さい。
TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないで下さい。
- ③ メーターのサンプリング周期により読み取り誤差があります。
2～3回程度おこなってください。

●点検後・・・新品交換待ちになった場合

- ① 劣化と判断した場合であっても電源・信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻して下さい。
交換までの雷サージ対策となります。

●素子の良否判定

- ① 測定する素子の動作電圧に合わせてRENJE(レンジ)を切り替えて下さい。
- ② 極性切替スイッチは通常正方向を定位置にして下さい。(極性切替時使用します)
- ③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続して下さい。
- ④ TESTスイッチをONに投入して下さい。
- ⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。

<6線式ロードセル用避雷器>

各素子	測定端子間	端子番号 +極/-極	印加電圧 (レンジ)	確認内容 下記の範囲であること	故障モード (通常)
G1	L1/L7	⑧/⑭	2000V	DC184 - 342V	OPEN
G2	L7/L1	⑭/⑧	2000V	DC184 - 342V	OPEN
ZD	L1/L2	⑧/⑤	※1	DC0.4 - 0.6V	SHORT
ZD	L2/L1	⑤/⑧	※1	DC0.4 - 0.6V	SHORT
ZD	L3/L4	④/①	200V	DC17 - 21V	SHORT
ZD	L4/L3	①/④	200V	DC17 - 21V	SHORT
D	L5/L6	⑫/⑨	200V	DC17 - 21V	SHORT

※1 電圧が低い為デジタルテストのダイオードレンジを使用して下さい。

製造番号130001～130003までのL1/L7,L7/L1間は300～430Vとなります。